

市民公募型パートナーシップ事業

成果報告会のお知らせ

京都市ごみ減量推進会議では、ごみ減量・リサイクルに関する企画及び取組を市民団体から公募し、循環型社会の実現に資する事業に対して助成しています。

昨年、平成21年度には11事業が助成対象として採択され、地域の自然に目を向けてもらう散策マップの作成や、子どもをはじめ、幅広い年齢層にエコを感じてもらうイベントの開催、包装ごみを減らすハンドブックの作成など様々な取組がなされました。

つきましては、下記のとおり成果報告会を開催しますので、ぜひお立ち寄りください。

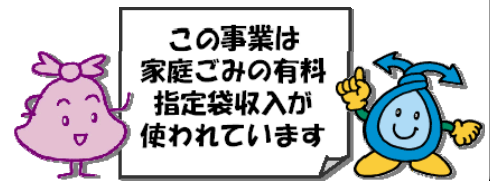
記

日 時 平成22年7月30日（金）午後2：00～4：30

場 所 職員会館かもがわ 2階 大会議室
(中京区土手町夷川上る末丸町 284 TEL 075-256-1307)

参加費 無料

*裏面に平成21年度採択事業一覧を掲載しております



<お問い合わせ先>

京都市ごみ減量推進会議 事務局

〒612-0031

京都市伏見区深草池ノ内町 13 京エコロジーセンター活動支援室内

TEL：075-647-3444 FAX：075-641-2971

E-mail：kogomic@mbox.kyoto-inet.or.jp

■（参考）平成21年度助成事業一覧

（順不同）

助成団体名	事業概要
深草の環境を守る会	深草の自然環境イラストマップを作成。地層や植生などの自然環境と歴史に重点を置いたイラストマップを作成・普及し、ごみ減量に向けての市民意識を啓発する。
特定非営利活動法人 コンシューマーズ京都	市民、事業者、行政関係者を対象に、蛍光灯の適正処理と再資源化の必要性を普及啓発する。特にオフィス内の蛍光灯リサイクルシステムづくりを進めるとともに、適正な処理を呼び掛けるCDを作成する。
京都工芸繊維大学・繊維リサイクル技術研究センター	繊維リサイクルモデル都市京都の構築に関する普及啓発活動として、繊維廃材を素材とする楽器教材（木琴）の開発を行う。また、教育現場で組み立て可能なキット商品としての調査研究を行う。
京都経済短期大学 洛西・地域研究センター	地域のボランティア団体と連携し、小畑川清掃活動を行う。また、環境保全勉強会 - 洛西環境サミット - と題してごみの減量をテーマにした講習会及びパネルディスカッションを行う。
特定非営利活動法人 環境市民	「2R・容器包装削減ハンドブック」の作成と、同ハンドブックを用いた容器包装削減学習会の実施する。
もったいないを伝える ごみ図鑑編集委員会	過去30年間の様々なごみの写真を電子データ化し、テーマに応じて編集する。私たちはどこから来たのの写真パネルを作成し、関西の市民啓発施設等に環境学習の教材としての利用をPRする。また、そのためのチラシを配布する。
みんなのヴィジョン創造研究所	魅力的な知識づくりガイド「地域づくりは楽し！」発行。ごみ減らしからごみなくしへ、ごみのない豊かな地域づくり活動を進めていく為のノウハウの作成を行う。
ふろしき研究会	「マイは・ふ・ぼ」の提案。マイ箸、ふろしき、マイボトルの持ち方を啓発し3Rを呼び掛ける。ふろしきの包み方講習やふろしき文化の紹介を行う。
Ladies' Eco Circle “プラムロード”	3R Eco おばちゃん Project2009 と題して、井戸端ミーティング、地域清掃活動、生ごみを利用した堆肥づくりと雨水の利用、地域イベントでのエコクッキング企画とリユース食器の紹介、利用啓発活動を行う。
Joint Of Art and Music	古布から作った資源回収型・可動式のシンボルオブジェ“エコホコ”の作成。エコホコと自転車発電を用いたエコホコ・プロジェクトの実施期間中、使用済み携帯電話と二次電池、古絵本の回収を行う。
京都における魚あらし サイクルシステム研究 所	京都魚あらしリサイクルセンターへの原料確保のための実態調査として、未回収業者に対しアンケートやヒアリングで回収の可能性を探る。魚あらしをめぐる経済状況を把握し、京都市における適正なりサイクルシステムの研究を行う。